

平成30年度事業報告

事業の概要

定款第3条の目的である「学術研究の助成及び知識の普及を図る」ため、下記諸事業を行った。

1. 研究等助成事業（定款第4条第1号）

(1) 海外渡航費 1件 100,000円

「生命科学分野における遺伝学に関する基礎的、学際的研究及び関連する諸技術等の研究」のため海外渡航費助成の公募を別紙募集要項により行い、選考委員の選考結果に基づく審査により、海外渡航費の助成を行った。

(2) 研究会助成費 1件 144,488円

若手研究者を奨励する「第31回モロシヌス研究会」に助成を行った。

2. 講演・講習会等開催事業（定款第4条第2号）

(1) 三島市と遺伝学普及会は連携協定締結事業として

「夏休み子ども遺伝学講座」を7月に開催した。また、「遺伝学講座・みしま」を3月に開催した。

(2) サイエンスカフェ「寺deサイエンス」を、10月に蓮馨寺にて開催した。

3. 遺伝学に関する知識の普及と向上をはかるための事業（定款第4条第3号）

(1) 雑誌「遺伝」編集委員会において、雑誌「生物の科学「遺伝」」の編集を行い、隔月6冊を株式会社エヌ・ティー・エスより下記のとおり発行した。

「生物の科学「遺伝」」

2018年 5月号 特集「宝石サンゴ研究の最前線」他

2018年 7月号 特集「クワガタムシ研究最前線」他

2018年 9月号 特集「キノコと地球」他

2018年11月号 特集「ゲノム編集の基本原則」他

2019年 1月号 特集「ペンギンの生物学」他

2019年 3月号 特集「サクラ研究の新たな展開」他

(2) 「生物学普及書」編集委員会において、遺伝学・生物学関連の図書（ポピュラーサイエンス）をシリーズものとして、(株)裳華房より発行を計画していたが30年度中の発行はなかった。

(3) 国立遺伝学研究所の協力により、(株)エフエムみしま・かんなみにおいて普及会放送事業サイエンスNOWを実地した。

4. 遺伝学に関する教育資料の頒布事業（定款第4条第4号）

教育研究資料の頒布等下記のとおり実施した。

・冊子 「遺伝研のさくら」 5版

265冊

・雑誌「遺伝」特別編集版

51冊

| | |
|-----------------------|-----|
| ・ 絵葉書 「国立遺伝学研究所の桜」〔Ⅱ〕 | 21部 |
| 「国立遺伝学研究所の桜」〔Ⅲ〕 | 18部 |
| 「国立遺伝学研究所の桜」〔Ⅱ〕 + 〔Ⅲ〕 | 36部 |
| ・ 桜マグネット | 81個 |
| ・ 桜ストラップ | 14個 |
| ・ 桜LED付きキーホルダー | 6個 |
| ・ CD-ROM | 20枚 |

5. 動植物に関する優良品種の普及事業（定款第4条第5号）

(1) 変化アサガオの種子及び絵葉書「国立遺伝学研究所のアサガオ」の頒布を行った。

| | |
|-----------------------|-------|
| ・ 変化アサガオの種子 | 2169袋 |
| ・ 絵葉書 「国立遺伝学研究所のアサガオ」 | 20部 |

6. その他前条の目的を達成するために必要な事業（定款第4条第6号）

(1) 国立遺伝学研究所の委託を受けて桜樹木維持管理及び接木事業を行った。

そ の 他

1. 維持会員

法人の目的を達成し、健全な事業活動を維持するために必要な財政基盤を増大するために維持会員の募集を行った。

維持会員（個人会員）2名の入会申し出があった。

平成31年1月31日現在 団体会員 10社 13口 個人会員 4名 10口

2. 遺伝学振興基金

平成30年度中にはありません。

3. 寄附金

- (1) 平成30年9月に常脇恒一郎様より特定寄付金(所属研究団体 日本遺伝学会 木原基金)として10万円の寄付があった。
- (2) 平成30年10月に五條堀孝様より一般寄付金として1000万円の寄付金があった。
- (3) 平成30年12月に斎藤成也様より特定寄付金(ゲノム学基金)として100万円の寄付があった。